

「広報」



ちくづみ



2017

1

vol.206

- 2 新村長 新年のご挨拶
- 3 就任のご挨拶 新副村長 新議員
議会活動日誌
- 4 平成27年度決算報告
- 5 村民体育祭
- 6 島留学スタート
- 7 【特集】 隠岐ユネスコ世界ジオパーク
- 8 職員紹介／知夫の自然／ふるさと寄付金／戸籍コーナー

小さな島 みんなファミリー 知夫里島

第61回 村民体育祭

村民体育祭で発表する組体操は、知夫の自然をテーマとした技を小中学生が全員で組み合わせていくものです。その中でも写真の「赤はげ山」は唯一全員で1つの技を創り上げる、まさに小中一丸を象徴するものです。

知夫の美しい景観の代表でもある赤はげ山のように、子どもたちがみんなで支え合う知夫小中学校の魅力の1つとして伝えることができるようにこれからも挑戦していきます。



新年のご挨拶

村長 平木 伴佳

新年あけましておめでとーうございませう。

村民の皆様方におかれましては、夢あふれる輝かしい平成29年の新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、公私共に大変お世話になりましたこと重ねて厚く御礼申し上げます。

また、村民の皆様方には、日頃から村政全般にわたり温かいご理解とご支援を賜り、心から厚く御礼申し上げます。どうか本年も相変わりにませぬご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、私ごとになりますが、昨年11月14日に村民の皆様方からの負託を受け村長に就任し、村政運営を担うこととなりました。日々を重ねるごとに、その責任の重大さを痛感するとともに、身の引き締まる思いです。

就任後、約1ヶ月半ほど経過いたしました。山積する諸問題など多くの事案につきましては、議会の皆様方や村民の皆様方と協議を重ね、一つ一つ

解決して参る所存でございますので、今後ともよろしくお願いいたします。

昨年を振り返ってみますと、国内外ともに多くの出来事があり、激動の一年であったように思えます。海外に目を向けますと、アメリカでは大統領選挙でトランプ政権が誕生、イギリスにおいては国民投票でEU離脱派が勝利、お隣の韓国では国会において朴槿恵大統領の弾劾訴追が可決される等々、政変が相次ぎました。国内をみましても、初めての合区で揺れた参議院選挙や都民ファーストを掲げて当選された小池百合子氏の東京都知事選挙をはじめ、多くの選挙が実施され、時代の流れを感じる年ではなかったかと思えます。

一方、自然災害が猛威を振るった年でもございました。熊本県や鳥取中部で発生した地震など、各地に多くの被害をもたらしております。東日本大震災の記憶もまだ癒えぬなか、まるで、

地球全体が、悲鳴をあげているかのように感じないところでは。

知夫村におきましても、そういった自然災害は、いつ起こるかもわかりません。危機管理に対する体制を今一度再点検し、村民の皆様方が安心して暮らせるよう、しっかりとした体制づくりに取り組むたいと思えます。

本村の人口は、記録上昭和25年の2349人をピークに、所謂「離島のハンディ」が人口面に現れ、構造的に極端な少子高齢化が進み、現在に至っております。国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計を基に、まち・ひと・しごと創生本部が作成した推計結果によると、この傾向が続いた場合2040年の総人口は337人にまで、減少すると推計されております。

こういった推計が現実とならないために、あらゆる角度から現状を分析し、必要な施策を展開する必要があると考えております。

知夫村が抱える過疎・高齢化、少子化といった問題の根底にあるのも、前記のとおり、人口減少にあると認識しています。人口減少に歯止めをかけ克服してゆくことが、これからの村づくりに進める上で最も必要なことであるとも考えております。「鶏が先か、卵が先か」と言う例え話もありますが、交流人口の拡大を図り、人の流れを生

み出し島の活性化を図ることが産業振興などを推進してゆく上で重要なことです。人の流れのない所には、人は集まらない、産業も育たない、生まれないのではとも考えております。地場産業の振興や定住者向けの住宅建設など受け皿としてのハード事業も展開してまいります。知夫村の知名度アップや畜産や漁業の後継者確保のための新規就業者募集などを目的とした情報発信の充実、国が来年度からスタートする「子育て支援員制度」を活用した子育て環境の整備を図るなどソフト面にも力を入れ、活力ある村づくりに努めたいと考えております。ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

また、行政と議会は車の両輪であると言われます。今後の財政状況を見ますと、今後厳しい行財政運営が見込まれております。村民の代表であります議会の皆様方とも十分な協議を重ね、事業の緊急性や必要性を考慮しながら、そして、地域活性化・住民福祉向上とのバランスを図りながら、行財政運営に努めます。

結びに、今年1年が村民の皆様方にとりまして、素晴らしい年になりますことをお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。

就任のあいさつ

副村長 田上 俊



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて私ことこのたび、村

長の選任を受け、村議会の同意をいただき、昨年の12月15日より知夫村副村長を拝命しました。

私には身に余る重責でございますが、村長が掲げる基本理念である「平等・対話・変革」を念頭に置き、第5次知夫村総合振興計画のメインテーマである「活力ある住み良い島・知夫村」を実現するため、微力ではありますが誠心誠意努力してまいります。

このたび、10月30日の村議会議員補欠選挙において議員に当選されました横川正議員さんに議員としての抱負を伺いました。

議会議員 横川 正



村内の高齢者の方々が、安心して暮らせる地域づくりと、一人でも

多くの人々の働く場の確保を目指します。地域内で長く勤めた経験と知識を糧に、浅学の身ではございますが、皆様のご期待に添うよう知夫村の発展に努力いたします。村民の皆様のおかげで、いろいろと、一人でも

お疲れ様でした。知夫村選挙管理委員長退任 山本和夫さん

知夫村選挙管理委員長を務められた山本和夫さんが、12月2日に退任されました。

12年間の長きにわたり正しい選挙職務遂行とご苦労を称えて、知夫村から感謝状が授与されました。長い間お世話になり、本当にありがとうございました。



感謝状を受ける山本和夫さん

来居港旅客ターミナル建設要望

1月20日に、衆議院細田事務所において、来居港旅客ターミナル建設の完成に向けた要望書を細田博之議員に提出しました。この日は、青木一彦、島田三郎議員にもお会いすることができ、隠岐島の交通体制強化等もあわせて要望しました。知夫の玄関口であり、村民の誇りとなる旅客ターミナルの早期完成が待ち望まれます。



平木村長より細田衆議院議員に要望書提出

議員・議会の活動日誌

8月

- 2日 監査定例総会・研修会（松江）
- 5日 月例監査
- 6日 隠岐國はびこ会第1回研修・相談会（海士）
- 8・29日 知夫村教育魅力化プロジェクト会議
- 10日 しまね縁結はびこ会代表社会（松江）
- 19日 隠岐航路調査特別委員会・隠岐広域連合議会運営委員会（隠岐の島町）
- 6・19・20日 知夫村教育魅力化プロジェクト会議島留学短期体験
- 22~24日 決算監査
- 23日 島前町村組合決算監査（西ノ島町）
- 25日 議員全員協議会

9月

- 4・18日 子育て支援員研修（出雲）
- 6日 月例監査
- 7日 JAしまね教育文化セミナー（出雲市）
隠岐広域連合定例会（隠岐の島町）
- 12日 議員全員協議会
- 14日 敬老会・隠岐巡回講座
- 15日 皆一奉納演奏
- 19日 島前高校魅力化推進会議
- 24日 村民体育祭
- 26日 駐在所連絡協議会

10月

- 4・31日 知夫村教育魅力化プロジェクト会議
- 5日 議員全員協議会
- 11日 全議員研修・定住財団研修（松江市）
- 12日 月例監査
- 14日 国保連合会議（西ノ島）
- 15日 UIターンフェア（大阪）
- 16日 関西知夫人会（大阪）
- 18・23・24・30日 子育て支援員研修（出雲・松江）
- 27日 島の音楽パトロール（西ノ島）・島前音楽会（西ノ島）

11月

- 6日 島前高校魅力化推進協議会・グローバル部会
- 8日 全国離島議会議長会議（東京）
- 9日 町村議会議長会全国大会（東京）
- 10日 月例監査
- 15日 知夫村教育魅力化プロジェクト会議
- 17日 正副議長・正副委員長研修会（松江）
- 21日 議員全員協議会

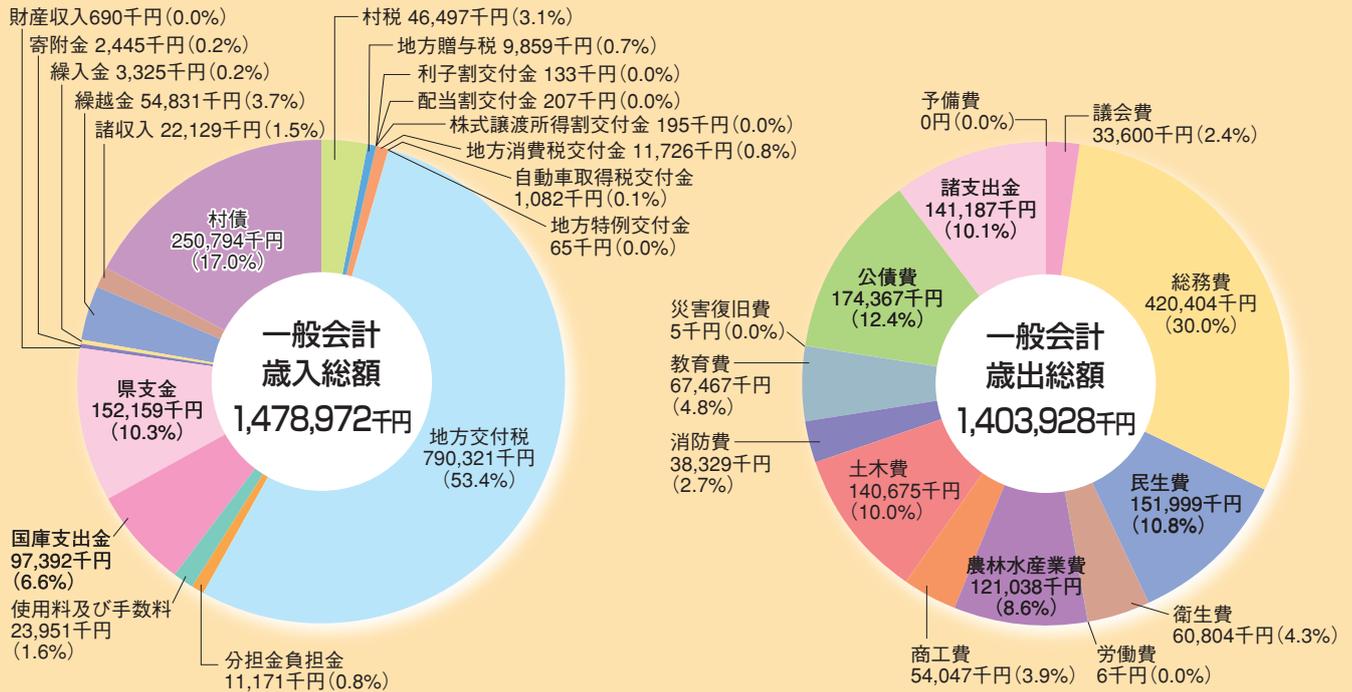
12月

- 1日 議員研修（隠岐の島町・久見竹島歴史館）
- 2日 議員全員協議会
- 4・7・21日 知夫村教育魅力化プロジェクト会議
- 7日 月例監査
- 9日 島前町村組合会議（西ノ島町）
- 10・11日 知夫村教育魅力化プロジェクト会議・短期体験
- 12日 12月定例議会
- 16~18日 知夫村魅力化プロジェクト会議・太田市視察（大田市）
- 20日 知夫村ファミリーサポートセンター検討会
- 17日 長尾花街道議員花木植栽

自らの地域は自らの手で…
地方分権時代にふさわしい議員自らの提案型の議会活動の一環として、全国的に有名な高知県土佐市にある牧野植物園のご指導をいただき、長尾花街道を中心にハマナス等の花木の植栽を行いました。村内の癒しの場として親しまれることを目指しています。



平成27年度決算状況



●特別会計

区分	歳入総額	歳出総額	区分	歳入総額	歳出総額
国民健康保険特別会計	150,927	150,927	後期高齢者医療特別会計	19,376	19,376
診療所事業特別会計	97,761	97,761	簡易水道特別会計	80,112	80,112
歯科診療所特別会計	21,433	21,433	下水道特別会計	68,523	68,523

決算審査特別委員会 委員長報告



委員長 井尻義教

【付帯意見】

一、各種会計決算

平成27年度知夫村一般会計及び特別会計決算については、関係帳簿及び証拠書類は整備され、決算係数はいずれも符合し、合法的な処理運営と認定いたします。

二、財政と運用

一般会計歳入歳出決算については、経常収支比率は92.9%と高く、依存財源型地方公共団体となっており、東京都をはじめとする財源豊かな公共団体でないことより、村存続においては、独自の経済再生への取組が必要不可欠の課題となっております。

こうした現状に鑑み、平成27年度の全国的な少子高齢化社会に対応した行政施策として、継続的な住民の各地区における健康づくりの取組みは、長期的には医療費削減に直結し、村の行財政の安定化はもとより住民自ら取り組むことで、「自らの地域は自らの手で守る」という地方自治の基本的理念である住民意識向上につながり、大きな村の財産となっています。また、人口増の定住施策の一環として、知夫村地域優良賃貸住宅建設事業並びに空き家助成事業によるUターン者への住宅環境の整

備。簡易水道施設整備事業、道路橋梁長寿命化事業をはじめとした基本的インフラの整備。観光協会を主体とした観光ガイド、シーカヤックガイド育成による観光産業をはじめとした村の産業の収益化にスピード感を持った取組の成果として、全国に先駆けて平成24年度以降の人口増の実績があげられています。

今後の施策として、平成27年度に策定された「知夫村まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、村存続に向けた緊急課題であり、実施計画に基づき実践し、村の経済の発展を図っていただくよう要望します。具体的施策事項である平成27年度から教育委員会を取り組んでいる島留学の取組等は、人口増に直結し、職員の雇用の創出が期待できるものであり、費用対効果の高い取組であると考えられます。「経済なきところ、人住まらず」と言われるように経済発展に伴う人口増の取組に期待をします。

最後に、今後とも村長をはじめ職員一丸となり、全体の奉仕者としての高い理想と信念に基づき、職務に対して危機感を持ち、将来に向けた村づくりへの企画立案を常に心がけていただくことを熱望します。また限られた財源の中で、住民サービスと住民の受益者負担のバランスを図り、住民に身近な行政サービスを安定的、効率的かつ効果的に提供するために、将来展望に立った行財政執行に期待します。

以上、平成27年度決算審査特別委員会の報告とさせていただきます。

9月24日(土)、好天に恵まれ第61回村民体育祭が
小中学校校庭において、村内外から230名の参加者
により盛大に行われました。

村民体育祭



鳥根県中学校総体
400m女子リレー3位表彰



渡部真也小中校長
東京オリンピックめざして



ファイトマン!! 知夫里っ子入場



恒例の玉入れ競争
あらあらむずかしい



障害物競争
なかなか進みません



大会前のラジオ体操



トランプ…お嬢さん大活躍



お母さん頑張れ!!

いいいいな みんなで楽しいお弁当 (^^)



恒例の組み体操

さあ
これからが
勝負です



えっさばい



白熱のリレー対決
神ってる!!



応援席より、がんばれー



小中合同色別リレー



メイン競技の地区対抗綱引き

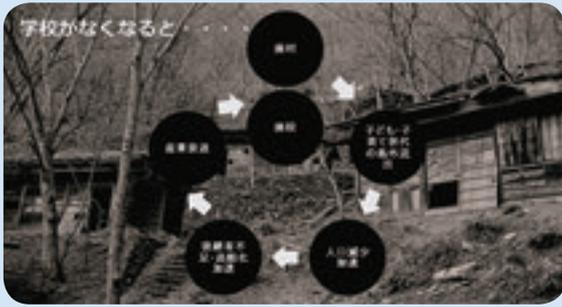
島留学スタート!!

知夫村教育魅力化 ～島留学の取組～

背景

少子高齢化に伴う人口減少により、知夫村も年々小中学校の児童生徒数が減少し続け、現在では、小中あわせて37名(平成28年12月5日現在)となっています。現段階では、平成34年には小中児童生徒数が22名まで減少することが予想されています。このまま児童生徒数が減少し、学校がなくなった場合、子ども・子育て世代の流出↓人口減少↓後継者不足・高齢化の加速↓産業の担い手不足↓産業衰退という負の連鎖が起き、ひいては、廃村に至る可能性もあります。

こうした中、知夫村では、昨年度策定された「知夫村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、村をあげて教育を魅力化し、島外から子どもを募集する「島留学」を実施するに至りました。



学校がなくなるとシュミレーション

知夫村教育魅力化プロジェクトの取組

知夫村の教育魅力化を実現するため、今年度より、知夫村の教育をあらゆる視点から見つめるため、あらゆる分野の地域の方にご協力頂き、「知夫村教育魅力化プロジェクトチーム」を結成致しました。



教育魅力化プロジェクト会議

週2〜3回、夜に会議を重ね、平成28年12月5日現在、累計200時間を超える協議をしてきました。プロジェクトチームは、村長・教育委員会・学校・保小中一貫教育を支える会など、様々な関係各所と連携を取りながら活動しています。

知夫村教育魅力化の目的は、「魅力的で持続可能な学校と地域をつくる」こととであり、知夫村魅力化の定義を「知夫の子を育てるために知夫の強みを最大化し、弱みを最小化する取組」としています。「島留学」は、知夫村の小中学校児童生徒数の減少という、まさに現在知夫村の弱み(課題)を最小化するための教育魅力化の一部の取組です。

島留学の現状

知夫村教育魅力化の島留学実施にもない、コンセプトを「600人の家族とくらす島留学」とし、今年度より島留學生の募集と受け入れ体制の整備を進めてきました。

島留學生の募集では、これまで、東京・大阪・広島・松江などのイベントにてPRをし、さらには、インターネットでのPRも行ってきました。現時点(平成28年12月5日時点)で、10件を超える問い合わせがあり、うち、8件が短期体験として知夫に来島済み、または、来島予定となっております。夏の短期体験に大阪から参加した1組の家族は、短期体験をきっかけに移住を決断され、平成28年11月に知夫村へ移住し、中学1年生に新しいお友達が転入しています。また、今年度2回行われる選考会(11月・1月)には、既に2組の応募がありました。



東京Uターンフェアでの生徒募集

短期体験は、島留学・学校説明会、島内案内・地域の方との交流などを体験して頂き、「知夫が自分に合うかどうか」をしつかりと自分の目で見て判断してもらおうことを目的に、島留学検討者には必ず参加して頂くようお願いしています。島留學生の受け入れに

いては、昨年度策定された「知夫村まち・ひと・しごと創生総合戦略」にもあるように、寮で行う予定になっています。旧大江集会所を改修し、最大8名が暮らせる寮が今年度中に完成する予定です。この寮を建てるにあたり、最も大事にしたのが「地域の人と関われる寮」ということです。寮が完成した際には、お気軽にお立ち寄りください。

600人の家族とくらす島留学

知夫村の島留学の最も大事なコンセプトは「600人の家族とくらす島留学」です。これを実現するために、島外に向けたPR以上に、島内に向けた「島留学説明会」を実施してきました。保小中一貫教育を支える会・学校・保護者はもちろんのこと、全7地区の健康づくり交流事業の会にお邪魔させて頂き、島留学の目的や意義、方向性をお伝えさせて頂きました。説明会の中では、協力的な意見や厳しい意見もありましたが、まずは、知夫村の考える島留学の在り方や方向性を知って頂き、頂いた貴重なご意見を生かしながら「600人の家族とくらす島留学」の実現を目指していきたいと思えます。今後とも、宜しくお願ひ申し上げます。



各集会所での説明

特集

知夫里島と隠岐ユネスコ世界ジオパーク

平田正礼 隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会事務局

皆さんの暮らしをジオパークがお手伝いできるか？

実はこの命題はジオパークの活動において非常に重要なポイントです。地域の人々の、大地と共にある暮らしがなければ、ジオパークではないからです。

そもそもジオパークが国際的な取り組みなのはなぜか？

それは地球を人類の住めない星にできる能力を持ってしまった現代人が人類と地球の未来を考えるための取り組みがジオパークだからです。

現在主流の地球環境を悪化させながらの経済活動は、未来の子達にとって不幸しかもたらさないでしょう。かといって、今すぐそれを改善するなんて無理な話です。ですが、もっと狭い、地域ならどうでしょうか。地域なら、環境を悪化させずに、あるいは悪化と改善のバランスを取った活動も可能でしょう。少なくとも数千年にわたってそれをしてきた実績が隠岐にはあるのですから。隠岐にあるような、地域の自然とバランスのとれた暮らしの事例を世界各地で集め、共有し、考案し、地域の自然とバランスのとれた人間活動を目指しましょう、というのがジオ

パークの取り組みの根幹なのです。

そして、この場合の「地域の自然」の中心にあるのが「地質や地理」だからこそ、ジオパークでは岩石や地層や火山が扱われているのです。世界中にいろいろ土地があり、土地に違いがあるのは地質や地理、ひいてはその対象である地球というこの星に理由があります。



赤壁により大地の成り立ちが理解できます

知夫には、知夫の自然があり、その自然と共に営まれてきた文化があります。やせた土地を効率よく使うための牧畑もそうですし、日本海の離島という地理に由来する北前船と民謡の歴史もそうです。海岸線ギリギリで真水の湧く井戸も、カルデラ由来の島前諸島だからこそのもので、赤壁に行けば知夫の大地が火山活動でできたことをこれ以上無く実感できるでしょう。

どれもこれも、皆さんにとって日常であり、当たり前そこにあるものでしょう。しかしそれらはいずれも、ご先祖さま達が守ってきた自然であり、自然と向き合ってきた末の恩恵です。その恩恵を利用して、10年後も100年後もこの知夫で人が笑い合っているように、恩恵を次世代に継承する、それがジオパークの目指す「持続可能な発展」です。

ジオパークは、知夫の自然や文化を持つ「当たり前」の特徴と利点を紹介できます。その特徴と利点が生み出す価値を産業や暮らしに活用すれば、この本土から遠く離れた島でも、いや、遠く離れた島だからこそその健康的で快適な暮らしができるのではないのでしょうか。



知夫村でかつて行われていた牧畑農業は、島民総出で島の土地をフル活用することで、毎年同じ作物が収穫できる島民一丸の協同に基づく産業でした。



湧水の島知夫里島
雨水が地下にたまり、淡水レンズの作用により地上に湧き水として湧き上がってきています。



「島根の名水百選」河井湧水群

知夫の海岸を彩る真夏の花 ハマボウとハマユウ

～海流に乗って漂着した海岸植物～



「ハマボウ」の花
平成28年7月20日 島津島にて撮影



「ハマユウ」の花
平成28年7月20日 長尾鼻海岸にて撮影

島津島や長尾鼻海岸には、南方系の海岸植物が生育しています。なかでも、「ハマボウ」と「ハマユウ」は、種子が海流に乗って漂着し根付く“海流散布植物”です。

島津島に生える「ハマボウ」は、ハイビスカスの仲間、真夏に直径10センチほどの鮮黄色の花をつけます。県内では島津島にのみ生育する珍しい植物であり、国内での分布の北限とされています。(島根県絶滅危惧植物I類)

長尾鼻の砂浜に生える「ハマユウ」は、初夏に芳香のある白色の美しい花を咲かせます。県内では野生での生育が確認されていないため、この株が野生で自然に生育するものであれば、新しい発見になり、また国内での分布の北限になります。このふたつの植物は、学術的にも非常に貴重であり、大切に保護したいものです。(松江市在住 竹田恒夫)

ふるさと知夫寄附金 (ふるさと納税)のお礼

知夫村の地域福祉の向上や次世代に引き継ぐべき地域資源の保全や、活用等を図るために、「ふるさと」への想いを持つ方や応援する方々から「ご理解」「ご協力」をいただきました。

お陰様で平成二十八年一月から十一月までの期間に、三十二名の方からご寄付をいただきました。ご寄付をいただきました皆様には心から感謝を申し上げます。

なお、平成二十一年以降、皆様からお寄せいただいたご寄付は、平成二十八年十一月までで事業種別ごとに以下のとおり積み立てており、今後、これらに該当する事業を行う際に使用いたします。

寄附者(芳名) (順不同)

- 前田 隆史 様 (福井県)
- 小松 美幸 様 (京都府)
- 中西 康詞 様 (兵庫県)
- 田中 秀和 様 (栃木県)
- 真野 凱睦 様 (島根県)
- 田村 豊四郎 様 (大阪府)
- 浅見 洋 様 (大阪府)
- 菊地 純一 様 (大阪府)
- 佐藤 孝 様 (千葉県)
- 社家 薫 様 (兵庫県)
- 匿名 二十二名

事業種別	寄付額
安心して老後をふるさとで暮らせる環境整備に関する事業	592,000円
子供たちの健全育成に関する事業	1,379,500円
環境の保全・再生に関する事業	909,500円
指定なし	2,615,000円

また、寄付金をいただきました方に知夫村の特産品を贈らせていただいております。皆様方にはご無理のない範囲で今後もご協力を戴きますようよろしくお願いいたします。

編集後記

リオオリンピックでの日本男子四〇〇mリレーの活躍は、日本人の和を大切にす心の結集として、世界の人人々に感銘を与えました。和の心は、恒例になった体育祭での組み体操にも見られ、結果した小中児童生徒の力強さを感じました。平和とは、相手を許す心が備わっていること。心身ともに健全な肉体と精神が育っている知夫里っ子。平和な世界づくりの後継者として期待されます。皆様のお便りをお待ちしています。(山本)

E-mail: shou-kan@chibu.jp

地域おこし協力隊員・集落支援員

三浦知春さん



29年より、知夫村集落支援員になりました。三浦知春と申します。現在、招福苑で勤務しています。

1日でも早く仕事を覚え、住民の皆様や高齢者の方が生き生きと暮らせるようサポートができるように努力していきたいと思っております。

松本つばささん



こんにちは！10月から保育所に勤務しております松本つばさと申します。日々、島民の方の温かさや自然豊かな環境の中で生活ができて幸せ

戸籍コーナー

(太字は村内在住者・敬称略)
平成28年8月
平成28年12月31日

結婚

おめでと〜いっしょに祝います

渡辺 涼太 大江
桶谷 結衣 島根県

おすすめかき

お誕生おめでと〜いっしょに祝います

口村 莉央 来居
保護者 父 将太

やすらかに

心からおくやみ申し上げます

- 小前 英子 (92) 多沢
- 萬 健 (80) 多沢
- 竹川 禮市 (82) 薄毛
- 安藤元千代 (88) 郡
- 川畑 安一 (90) 仁夫
- (平成28年8月号掲載編)
- 三角 君江 (90) 古海
- 杉山 和美 (88) 古海

金一封

いただきました。ありがとうございました。

ありがとうございます。

- 笠石富子 (北九州市)
- 堂下 修 (松江市)
- 坂本 力 (横浜市)
- 増田節子 (大分)
- 関西知夫人会